

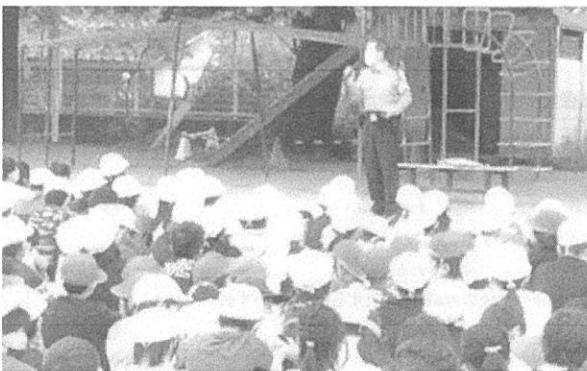


学校だより

# くすのき



安全な生活のために

大分県警察本部  
HPより

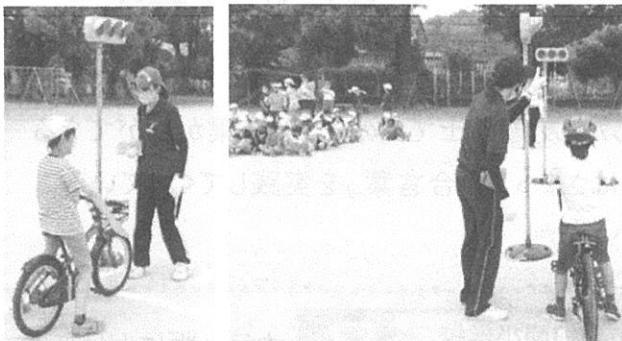
## 学年ごとの安全教室

## 【1年生:横断歩道の渡り方】

入学後、長い距離を自分で歩いて登下校している子どもたち。安全に登下校できるように、道路の歩き方や注意すること、横断歩道の渡り方について教えていただきました。教えてもらった通り、信号をよく見て、車が止まることを確認し、きちんと横断歩道を渡りましょう。

## 【3年生:自転車の乗り方】

本校では、毎年、3年生を対象に自転車安全教室を行っています。出発前の点検の仕方、発進や停止の合図、安全確認の仕方など、安全な自転車の乗り方を1年生と同じく、交通安全協会の方、由布市交通指導員の方にご



年度初めのこの時期、各学年に応じた安全教室を実施しています。

指導いただきました。

ご家庭でも、交通ルール



や乗り方を確認し、安全に楽しく乗ってほしいと思います。

5月18日(木)に不審者対応の避難訓練を行

いました。学校に不審者が侵入したときに取るべき行動、避難する際の経路の確認、教職員の対応等、実際に行うことで身につけるとともに課題を見つけ、もしもの時に備えます。児童は、放送や担任の指示に従って、「お(押さない)、は(走らない)、し(しゃべらない)、も(戻らない)」を守つて避難しました。その後、大分南署の警察官から、

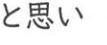
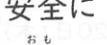
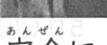
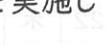
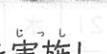
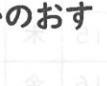
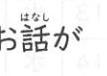
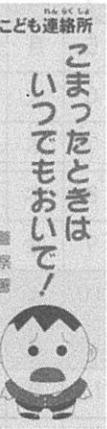
学校以外でも不審者から身を守ることについてのお話がありました。知らない人から声をかけられたら「いかの話し」を思い出して、行動することを確認しました。



5月18日(木)に不審者対応の避難訓練を行

いました。学校に不審者が侵入したときに取るべき行動、避難する際の経路の確認、教職員の対応等、実際に行うことで身につけるとともに課題を見つけ、もしもの時に備えます。児童は、放送や担任の指示に従って、「お(押さない)、は(走らない)、し(しゃべらない)、も(戻らない)」を守つて避難しました。その後、大分南署の警察官から、

学校以外でも不審者から身を守ることについてのお話がありました。知らない人から声をかけられたら「いかの話し」を思い出して、行動することを確認しました。



## 6月行事

日	曜	集会	行事
1	木	ゆーふー	大分教育事務所学校訪問
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		教育実習(～9日) SC来校
6	火	児童	
7	水		香々地宿泊体験学習(5年)
8	木	ゆーふー	香々地宿泊体験学習(5年)
9	金		
10	土		
11	日		
12	月		SC来校
13	火		市教研統一部(4時間授業)
14	水	環境	
15	木	ゆーふー	歯科検診
16	金		
17	土		
18	日	ゆーふー	
19	月		登校指導
20	火	保健	社会見学(4年) 歯科検診
21	水		
22	木	ゆーふー	歯科検診
23	金		
24	土		
25	日	ゆーふー	
26	月		SC来校
27	火	ふれあい	
28	水		
29	木	ゆーふー	学校施設訪問 歯科検診
30	金		

【6月の生活目標】

廊下を静かに歩こう

【7月の主な行事予定】

3日(月) 委員会活動

5日(火) 1学期末授業参観・懇談会

20日(木) 終業式

前号で朝來野先生の名前が違っていました。

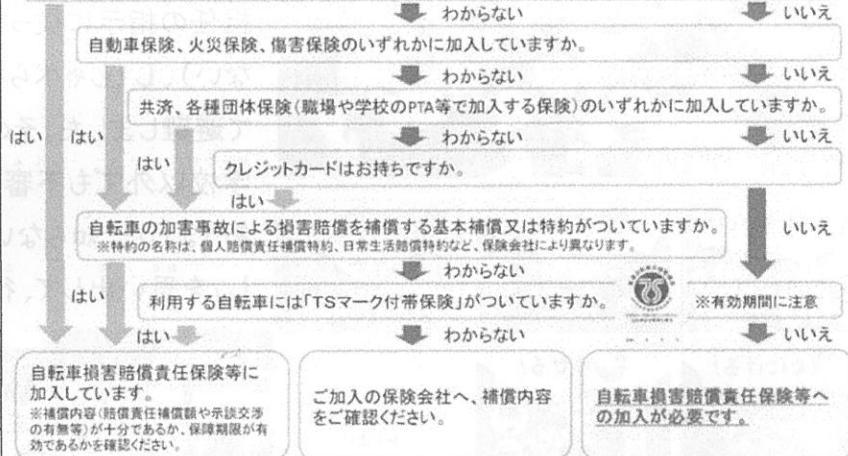
慶史×→憲史○です。朝來野憲史先生です。

訂正いたします。(本人にはお詫びしました)

道路交通法の一部改正に伴い、「大分県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」も改正され、令和5年4月1日からすべての自転車利用者の乗車用ヘルメット使用が努力義務となりました。また、自転車の保険加入も義務化されています。(自転車を利用する未成年者を監護する保護者) 実際、小学生が起こした自転車事故で、9000万円もの賠償が命じられた事例もあります。命を守るヘルメット、もしもに備える保険、いずれも大事なことです。

万が一の事故に備え、自転車保険(賠償責任保険)に加入しましょう。

自転車を利用中の事故により、他人にけがをさせてしまった場合など、相手の生命、身体、財産の損害を補償できる保険(自転車損害賠償保険・共済)に加入していますか。



↑大分県のホームページより



## ちょっといいはなし

校長室にいるとき、廊下から子どもの声が聞こえてきました。体育の授業が終わり、体育館から教室に戻っているところでした。うつむき加減の児童を3人の児童が取り囲むようにして歩いています。「大丈夫だよ。次の時間がんばればいいやん。」「あきらめたらダメだよ。」体育の時間にうまくいかないことがあったのでしょうか。落ち込んでいる友だちを元気づけようとしているところでした。私は思わず、「素敵な言葉かけだね。」と声をかけると同時に、『いいね』の合図を送りました。すると言葉をかけた児童も『いいね』を返してくれました。友達同士でこのような言葉かけができることに感動し、『はさまっここの合言葉』を実践してくれていることをうれしく思いました。

